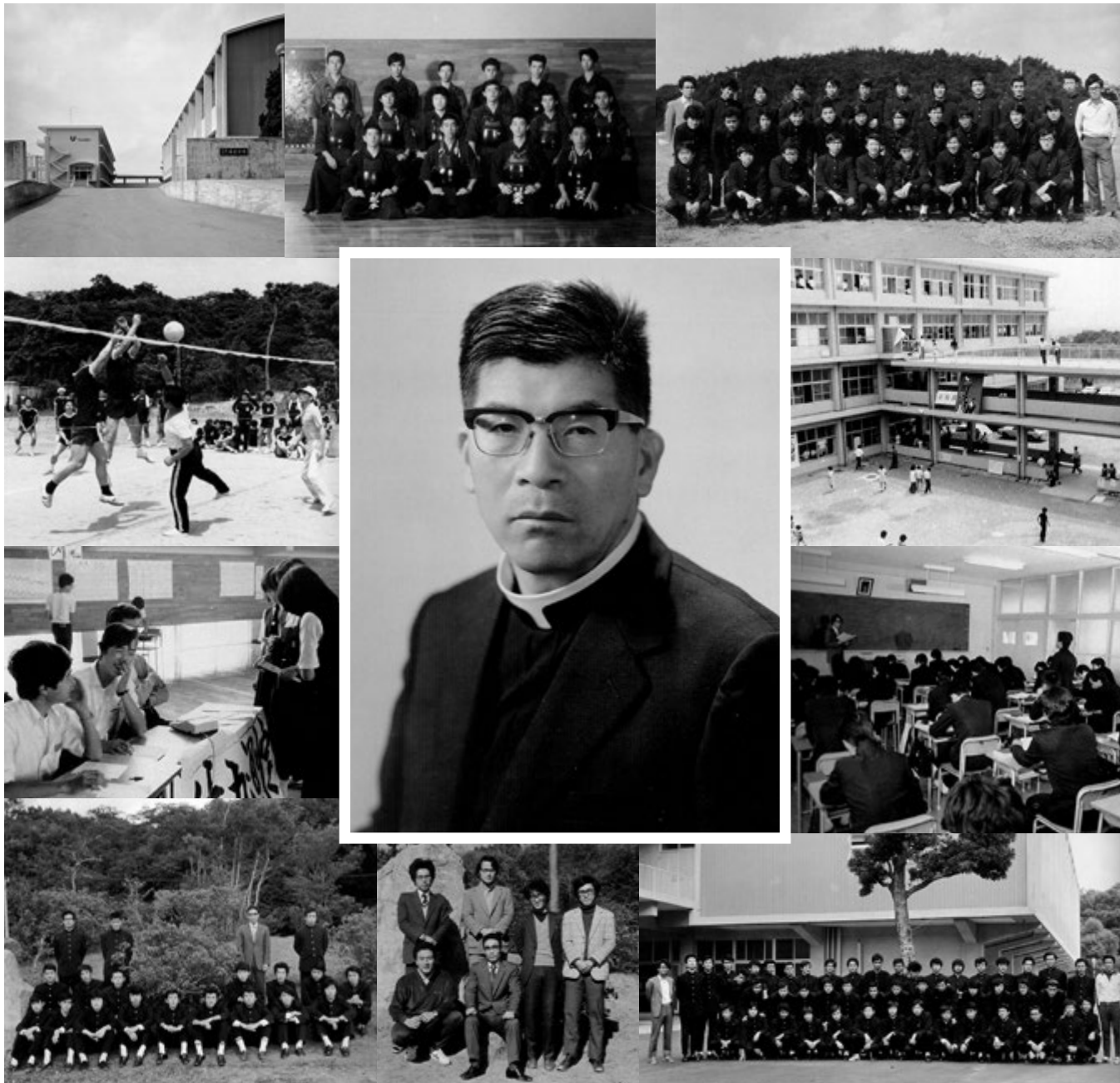




学校法人 上智学院

上智福岡中学高等学校同窓会

泰星会



第11代山頭原太郎校長・1973年(S48年4月) 就任から在位10年

(※28号表紙は28期卒業アルバムからの抜粋です)

CONTENTS

- ◆ 会長挨拶
- ◆ 校長挨拶
- ◆ ご寄付のお礼
- ◆ 私の人生を決めた、中島先生との出会い
- ◆ JJHAF四校連絡協議会 イエズ会姉妹校四校同窓会情報
- ◆ 政治家を目指したきっかけ
- ◆ 泰星会ゴルフコンペのお知らせ

- ◆ 関東支部総会・懇親会のお知らせ
- ◆ 関西支部総会・懇親会のお知らせ
- ◆ 音楽家がこれからの政治を担う時代
- ◆ 同窓会ホームページの紹介
- ◆ 同窓会の役員一覧
- ◆ 令和4年度 事業報告
- ◆ 令和5年度 事業計画(案)
- ◆ 令和4年度 決算書

- ◆ 令和5年度 予算書
- ◆ 2023年度大学入試 合格者数一覧
- ◆ 第2回イエズ会姉妹校4校同窓会共同イベント
- ◆ 同窓会会費納入のお願い
- ◆ 同窓会会費納入状況
- ◆ 上智福岡中学高等学校同窓会(泰星会)開催のお知らせ

第28号

発行元 上智福岡中学高等学校同窓会事務局
〒810-0032
福岡市中央区糠国1-10-10
TEL : 092-715-9094
FAX : 092-715-9095
制作 三栄印刷株式会社



会長挨拶 中島 幸男

初夏の柔らかな日差しが若葉に降り注ぐころとなり、同窓生の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

昨年に起きたウクライナの戦禍は新たな年が明けても収まる気配は見られず、ロシアは戦術核兵器の配備をする方針を決め、世界唯一の被爆国であり悲惨な経験をした日本だけでなく、世界全体にとって由々しき問題であり、平和という言葉が消え去ろうとしています。非常に残念です。一日も早く世界各地の紛争が終結し、ウクライナの人々も人間として生きる権利を取り戻せる日を祈るばかりです。先の3月には、世界の紛争地域の戦禍を忘れるような野球の祭典WBCが行われ、国内外を盛り上げ大変賑わいました。選手たちがお互いに助け合って一致団結し、真摯に事に当たる素晴らしさを若者の中に感じ取りました。

さて同窓生の皆様、コロナ禍の中でも有志で情報交換し親睦を深めておられると思いますが、できれば同窓会事務局にも情報を頂いただければホームページの活用もできます。4校同窓会連絡会では昨年東京で、対面と並行してWeb会議が行われました。内容は、各同窓会の近況報告と、イエズス会系同窓会世界連合会についての継続審議でした。また長年継続しております、東ティモール教育援助はこれからもしっかり続けてまいりたいと思います。教育の機会を受けられない国の子供たちのため手助けをすることはその国の発展、平和維持には大変必要なことだと思われまます。同窓生の皆様どうぞよろしくお願ひします。

本年も新型コロナウイルスの影響で、73期の卒業生を見送ることができませんでした。しかし、73期生はコロナ禍の中で教育環境に恵まれなかった3年間、それぞれの環境に適した過ごし方を学んだのではないのでしょうか。それぞれ人生の目標に向かって旅立ちました。同窓会として毎年のことですがローマ教皇が来日した際青年の集いで述べられた「自らの行動が公正で人間であること、正直で責任を持つ事を心がけ、弱者を擁護する人になってください。」というメッセージを添え記念品を贈りお祝ひしました。是非教皇のメッセージを大切に、校訓Magisと共にこれからの人生を歩んでいただきたい、と考えます。

同窓生の皆様もコロナ禍の中3年間環境変化に適應しながら生活してこられたと思います。国は5月8日に新型コロナウイルス感染症法上の分類について現在の「2類相当」から季節性のインフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を決定しました。このことで、同窓会としまして3年振りに総会を開催することにしました。コロナが完全に収束したわけではございませんが、総会に向けて役員当番幹事一同準備に邁進いたしますのでご支援よろしくお願ひいたします。最後になりましたが皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。 (6月寄稿)



校長挨拶 上智福岡中学高等学校・校長 船橋 巖

緑豊かな輝国の丘の学園では、3年にわたるコロナ禍からようやく解放され、生徒たちは伸び伸びと毎日の学校生活を送っております。同窓会の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は今年度80期生を迎えました。この4月、912名の志願者の中から選ばれた177名の生徒が元気よく入学し上智大学西澤副学長より祝辞を頂きました。本校は、校名を変更した2011年からの10年を「形づくりの10年」その後2030年までを「醸成の10年」とらえ、教職員一丸となり教育の質のさらなる向上に目下取り組んでおります。お陰様で、10年前は681名であった中学志願者が今回過去最高にまで増え、大学への進学実績も着実の伸びております。学力のみならず人間力をつける学校としての評価がここ福岡に定着しつつあり励みにしているところです。

学校行事は今年度より本格的に再開し、日常が戻るありがたみを日々噛みしめております。全校生がそろっての1学期始業式は現高2生が中1だった時の3学期以来でした。体育祭、文化祭は来場者の限定をせずに済みますし、中3語学研修はセブにて実施する予定です。

学校での学びは、ICT化がこの3年で一気に進み、全生徒が持つクロームブックを活用した授業となりました。さらにはChatGPTなどの生成型AIへの対応も求められる今日この頃です。このような時代にあっても、「地の塩、世の光」となり他者の幸せとより良い世界づくりに貢献する人間を変わることなく6年間かけてじっくりと育ててまいります。今後とも皆様の一層のご支援をよろしくお願ひいたします。 (6月寄稿)

ご寄付のお礼

東ティモール・聖イグナチオ学院 浦 善孝 2023年1月17日

上智福岡中学高等学校の同窓会泰星会会長中島幸男さまをはじめ、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。この度は聖イグナチオ学院基金宛に寛大なご寄付（2022年8月12日付、400,000円）をいただきましたこと心から感謝し御礼申し上げます。ありがとうございます。また、一時帰国の折には同窓会役員の皆様にお会いすることができましたこととても嬉しく思っております。さらに貴会会報にエッセイを掲載していただき、ありがとうございます。

東ティモールの聖イグナチオ学院（Coégio de Santo Inácio de Loiola/中学高等学校）は2022年に創立10周年を迎え、この1月（2023年）には11期生が入学してきました。

これまで皆様からいただいたご協力に心からお礼申し上げます。21世紀に開校された聖イグナチオ学院のカトリック学校としての使命を「学びたいすべての子どもたちが、貧富の隔たりなく学べるきちんとした学校」という目標で達成しようとこれまで努めてまいりました。その結果、在校生約830人中100余名は極貧の家庭から通ってくる奨学生で、当地レベルで経済的に普通の家庭や相対的に裕福な家庭から通ってくる生徒たちが皆一緒に学ぶことができる学校になりました。これは、国連が提唱し世界の人びとが応えようとしているSDGsのNo.4（「すべての人に包括的でかつ公平で質の高い教育を提供し、生涯教育の機会を促進すること」）を実現しようとする営みでもあります。しかし、これらの教育活動は皆様からの経済的ご支援なしでは実現できません。その意味でこの教育プロジェクトは当地の私共と皆さまの協働事業だと解しています。

聖イグナチオ学院は開校10周年を祝い、聖イグナチオ学院は年刊ジャーナルEducação Jesuita em Timor-Lesete : Uma Nova Educação para Uma Nova nação（東ティモールのイエズス会教育—あたらしい国のための新しい教育—）の発行を始めました。私共の恩人の方々への感謝のしるしであり、私共の教育プロジェクトの初心を忘れないため、また聖イグナチオ学院の成果を多くの人びとと分かち合うことを目的として編集いたしました。ご高覧いただけますようお願いいたします。私共の教育プロジェクトは続きますので、これからもご協力を賜れますようによりしくお願いいたします。コロナ禍のため当地の郵便事情がよくなり、また2022年は私のサバティカル・イヤーとなったためお礼状をお届けするのが遅くなりました。お赦してください。

皆様、どうぞお元気にお過ごしください。

浦 善孝

■ご寄付の用途についてのご報告■

(第9回) 2023年1月7日現在 /p38

これまでに聖イグナチオ学院基金宛にいただいたご寄付は下記の通り使わせていただきました。あるいは、今後下記の目的で使わせていただく予定です。多くの方々からのご寄付を合わせて一つの目的に使わせて頂いたり、ご寄付を複数の目的に使わせていただいたりすると、厳格に金額と用途をご報告することができないこともあります。

不明な点がございましたら、お問合せ頂ければお答えさせていただきます。ありがとうございます。

	BKNO	基金口座への入金日	ご寄付の金額	ご寄付の用途	備考
1	37	2013年01月28日	¥250,000-	奨学金基金へ入金	奨学金として使用済 2015年8月14日送金
2	90	2013年11月29日	¥250,000-	建築基金として使用済	2014/05/08 東ティモール地区会計室へ送金
3	263	2015年01月23日	¥250,000-	奨学金基金 2020	この目的で使わせていただきました
4	391	2016年02月19日	¥250,000-	奨学金基金 2020	この目的で使わせていただきました
5	705	2018年03月26日	¥150,000-	奨学金基金 2020	この目的で使わせていただきました
6	797	2019年02月12日	¥150,000-	奨学金基金 2020	この目的で使わせていただきました
	865	2019年07月05日	¥200,000-	奨学金基金 2021	この目的で使わせていただきました
7	1038	2020年08月19日	¥200,000-	奨学金基金 2021	この目的で使わせていただきました
8	1241	2021年10月08日	¥400,000-	2022年奨学金	この目的で使わせていただきました
9	1450	2022年08月13日	¥400,000-	奨学金基金 2023	この目的で利用させていただきます

↑現金でご寄付を託していただいた方は、当方で基金の口座へ入金させていただいた期日を記載しています
聖イグナチオ学院基金 現地世話人 浦 善孝

私の人生を決めた、中島先生との出会い



愛妻とのツーショット

‘85年 36回卒業生 案浦攻（あんのうら こう）

米国テキサス州ヒューストン Annoura Realty Group, LLC（案浦不動産）

大野正恒校長先生の進学校としての意気込みを聞き、そして我が家はカトリック信者でしたので迷うことなく泰星高校への進学を決めました。中学生時代からスポーツが大好きでしたがクラブ活動中に膝を痛めてしまいドクターストップ。当時は原因が分からず治す術無しでスポーツを止められてしまいました。もう運動部入部は諦め、両親から高校入学祝に買って貰ったロードレース用自転車でサイクリングを楽しむことにしました。思った通り膝に負担が掛かりにくいサイクリングは私向きで、学校の休み時間に読んだ情報雑誌でたまたま見つけた、福岡市内のサイクリングクラブに入りました。そこには、ロードレース、トラックレースの自転車競技をしている他高校のインターハイ選手、大学生国体選手が出入りしていましたので、日を追うにつれ競技志向に、そしていつかは私も、と憧れの気持ちで見っていました。

その後、学校の協力があれば個人でも高体連登録が出来ることを知り、格好いいサイクリング車で通勤されていた担任の大守剋郎先生に尋ねたところ、「自転車競技なら（当時事務長だった）中島幸男先生に相談したら良いのでは？」とのアドバイスを頂きました。

「えっ、中島先生？」 親しくして頂いていた神父さまと中島先生が同級生ご友人の間柄で、中島先生の事は入学前から存じ上げていましたが、この日に初めて挨拶に伺いました。

事務室の窓越しに初めて会う中島先生は「おお、君が案浦君か。うん、立派な体をしているね。分かった分かった、頑張ってみようか。」と拍子抜けするぐらい話がとんとん拍子に進みました。自転車競技は高体連競技のなかで最も危険度が高く登録を躊躇する学校も多かったのです。

後で知った話ですが、中島先生は当時アマチュア自転車競技連盟の公式資格を取られた、福岡県でたった二人の先生のうちの一人であり、久留米市にある全国トップレベル強豪校の祐誠高校（現）の監督ともご友人でした。また、全校生徒に恐れられていた体育教官主任の八尋良久先生も泰星高校に自転車競技部があった時代の部員で、ロードレース県大会で団体優勝した時のメンバーでした。思いもかけない強力なバックアップに恵まれた瞬間でした。



高校3年生奈良国体後の中島先生と



中島先生ウーリック校長と

ロードレース、トラックレースの基本は街のサイクリングクラブで教わっていただけだったので、それからの週末は久留米競輪場で全国レベルの高校生選手と一緒に練習をさせて頂きました。すでにホビーレースレベルでは優勝経験がありましたが、さすがにプロ競輪選手を目指す選手のなかでは全く歯が立ちません。それが一年生の夏ごろでした。

二年生の時にギリギリ、インターハイ出場権を得て、中島先生と一緒に意気揚々と愛知一宮へ遠征。レースがスタートしてすぐの強豪選手たちの逃げに付いていけず、あっけなく予選敗退。新幹線待ちの間に立ち寄った名古屋城観光が唯一の楽しい思い出でした。

三年生のときは、（秋田までの遠征費を学校から負担して頂いたため）またインターハイかと少々厳しいご意見もあったと聞きましたが、「泰星高校？」「どこ？」と言われながらも、四位入賞で表彰台に登ることが出来ま

した。その後の奈良国体も六位に入賞出来ました。悔しくて涙を、凍えるほどに寒くて鼻水を、強い日差しで汗をダラダラと流しながら練習した成果をだせました。

その成績が功を奏し、同級生が受験勉強で緊張感でピリピリしているなか、年内に中央大学へ進学が決まりました。スポーツ選手あるあるですが同級生に何だか申し訳なかったです。ソウルオリンピック出場の目標はかないませんでした。学生チャンピオンを経て、卒業後は日本競輪学校へ、そしてプロ競輪選手としてデビューしました。最高位のS級1班まで上がり、当時のスーパースター中野浩一選手と一緒にレースを走ることもありました。国内のギャンブルレースのみではなく、自転車競技にも積極的に参加しワールドカップでは4位入賞できました。



高3奈良国体6位



高3名古屋インターハイ4位

その後、百道浜で出会った米国人女性と縁あり結婚。中島先生ご夫妻にご媒酌を頂きました。14年後の2007年40歳の時に競輪選手を引退し、幼少の長男次男の家族四人（現在は三男も生まれ五人家族）で米国テキサス州ヒューストンへ移りました。渡米前から不動産関連業をしようかと妻と話はしていましたが、私はまずは自転車、金属製造関連の職に就きました。妻は早々に不動産業免許を取得、就職をしました。その後、気付いたのですがヒューストンには日本の大手企業、駐在員さんは多くいるのに日本語が出来る不動産業者が非常に少なかったのです。その隙間を見つけた妻が独立開業、すぐに私も不動産業免許を取得。

今は4～6人のスタッフと共に主に日本人駐在員、投資家の方々の不動産賃貸売買と管理を行っています。初めての海外、米国駐在のご家族も多く、日本とは大きく異なる住環境に戸惑いを感じられる事が多々あるかと思えます。その不安を和らげるお世話が出来る、とてもやりがいを感じる仕事です。また、テキサス不動産投資を日本特有の契約、商習慣を理解したうえで進めていますので、顧客の方々にも大変喜んで頂いています。

もし、この引退渡米があと一年遅れていたならば、リーマンショックによりローン審査が厳しくなった影響で私共には自宅購入は非常に難しく、スタートで大きくつまづく所でした。振り返ると結果オーライの綱渡り渡米でした。

さて、競輪選手引退直後にも二度目の古傷の膝の手術をしましたが、異国新生活への戸惑い、リハビリにも意欲がわかず、そのまま運動不足へ。そのうえ、毎日が美味しい米国の肉また肉の高カロリー食とテ



キサスイスキー続き 2021全米マスターズトラック競技大会優勝表彰式の後ででしたので7、8年で立派な成人病予備軍へと昇格致しました。これはさすがにまずいなと感じた49歳になった頃、ボランティア等で顔を出していたヒューストン市内の自転車競技場で、「全米マスターズのトラックレース大会に出てみないか？」との誘いがありました。ありがたいことに全米マスターズ選手権大会は米国市民権がなくとも永住権があれば出場可能でした。50歳からはレース距離が短くなり、競技参加へのハードルが下がるとのこと。今まで目標がなくジム通いも続きませんでした。これはチャンスだと感じるものがありました。



2023 UCI マスターズトラック世界選手権大会表彰式

最初の2シーズンは身体能力的に自信が無いため、テクニックと度胸で勝負できる（世界中で一番激しい動きのレースを許されている）日本の競輪の癖が抜けず、他選手からの厳しい批判や降格、失格、大きな大会で審判長から物陰に二度も呼び出されて厳しい注意を受けるなどの情けない目にもありました。SNS上でかなりの批判を受けたこともあります。

ヒューストンの仲間達は庇ってくれましたが、このままではレース界に居られない…。負けてもいいから真っすぐ走る…。を自分に課し、身体能力向上に努めました。



2023 全米マスターズトラック競技大会優勝表彰式

その後は全米マスターズトラック自転車競技選手権大会のスプリント競技で4大会連続で優勝。昨年は長くからの目標だった世界マスターズトラック自転車競技選手権大会同種目でも優勝出来ました。最近サポート活動にも力を入れ、先月はパラ - サイクリングの世界カップに出場する日本人選手サポートに行きました。



2023 UCI マスターズトラック世界選手権大会決勝スタート

トレーニングは物凄く苦しいです。室内自転車トレでは、「このまま命に係わる事が起こっても、おかしく無いな」と感じる程に追い込みます。仕事、家族の用事の関係で真夜中にトレーニングをすることも多々あります。そのため、今では夕食時に飲酒することは一切止めました。

ほかにも多くの犠牲を払い、苦しいとはいえ、競技復帰して身体が動くことの幸せ、新しい発見にワクワクすることが増えました。健康の為、そしてレースが大好きなのは勿論ですが、知人のいない異国で自転車競技という共通の話題、イベントを介して米国を超えて世界中に多くの友人を作る最強のツールになりました。

カトリックの泰星高校へ進学、大守先生、そして中島先生との出会い。それから大きく世界が広がり今に至ります。ほぼゼロの確率で出会った米国人の妻、たまたま自転車競技場があった渡米先のヒューストン、渡米タイミング、隙間産業も見つけました。偶然にしては出来すぎの人生です。巡ってきた運と言いますか、神様の導きを感じ、すぐに行動に移したから幸せに暮らしていけるのだと思っています。

中島先生、温かい目でサポートして下さった先生方、応援してくれた同窓生に感謝いたします。当時はクラブ活動は週に三日間のみ。学生の本分である学業に励んだうえでの大学進学が学校としての方針だったはずですが、入学当初はまだしも、途中から進路がずれてしまった私にも大きな応援を頂いたことは忘れられません。

JJHAF四校連絡協議会 イエズス会姉妹校四校同窓会情報

第2回イエズス会姉妹校四校同窓会 共同イベント開催

テーマ：きびしい世界を生き抜く自分のつくり方

開催日：2022年2月11日（土）

会場：上智大学6号館202教室

栄光学園同窓会の会長交代

前会長：第14代会長 山田宏幸氏（30期）2017年～2023年

新会長：第15代会長 河原光博氏（37期）2023年5月就任

令和5年度第40回JJHAF四校連絡協議会開催

開催日：2023年10月23日（土）

担当校：広島学院 翠友会



聖母マリア像（学園の聖母）

政治家を目指したきっかけ



宮川宗一郎（33歳）
 泰星中学高等学校 59期
 防衛大学校理工学部
 陸上自衛隊（ヘリコプター操縦士 UH-60JA）
 福岡県議会議員（福岡市城南区選出）1期目

この度は上智福岡中学高等学校同窓会会報誌、「泰星会」へ掲載させて頂ける機会を頂きまして誠にありがとうございます。この場をお借り致しまして、御礼申し上げます。

さて、私の学生時代と言いますと、特に得意な科目もスポーツもなく、試験の順位も下から数えたほうが早いような平凡な学生でした。楽しみといえば学校が終わった後に、家で延々とファイナルファンタジーやロールプレイングゲームにのめり込んでおりました。

忘れもしません2005年3月20日、当時私が高校2年生の時に、それは急にやってきました。玄界灘沖を震源とする震度5強の「福岡県西方沖地震」が起きました。

当時、バレーボール部の私は、まさに体育館にて部活動の真っ最中であり、スパイク練習をしている時でした。「ゴゴゴゴ、ミシミシ」と体育館が歪むような嫌な音が響き渡ると同時に床が揺れました。部活動は一時中止に、その場でじっとしていると、「ドンっ！」と金属のようなものが天井から落ちてきました。あたりを見渡してみると付近に500円玉くらいの大きさのネジが落ちておりました。その時は流石に神様に感謝致しました。



バレーボール部顧問の東先生と

この出来事は今後の私の人生感を大きく変える転機となりました。

特に被害が大きかった玄界島は祖父の出身地でもあり、祖父は玄界島の被災状況を見て、「被災現場で困っている人達を助けられるような人になれ。」と私に言いました。その言葉をキッカケに私は、警察や消防、自衛隊などの人の力になれる職業に興味を湧くようになりました。

私は、高校卒業後は、防衛大学校、陸上自衛隊そして政治家の道を歩みました。他の人より何か優れているものがあるわけではありません。悩み苦しむことは何度とありますが、何一つとして後悔はありません。むしろ、貴重な経験として感謝しております。

私の人生経験はまだ浅いですが、夢（目標）を持ってどんどんチャレンジしていくことは重要だと思います。高島福岡市長がよく成人式などで述べられています、「成功の反対は失敗ではない。成功の反対は挑戦しないこと。」とおっしゃっております

夢には2種類あります。「寝て見る夢」と「起きて見る夢」です。是非、起きて見る夢を見て、その夢を目標に変えていって欲しいと思います。チャレンジすることで、「心が変わり、態度が変わる。」「態度が変われば、行動が変わる。」「行動が変われば、習慣が変わる。」「習慣が変われば、人格が変わる。」「人格が変われば、運命が変わる。」「運命が変われば、人生が変わる。」

是非、「起きて見る夢」を見て、その夢を目標に変えて、どんどんチャレンジして欲しいと思います。

これも運命なのかもしれません。同級生に「防衛大学校のオープンキャンパスがあるから一緒に見学しようぜ。」と誘われ神奈川県横須賀市にある防衛大学校に行きました。真っ先に目に飛び込んできたのは、真っ白の制服で隊列を組んで堂々と歩いている姿でした。このような方々が国家を守って下さっているのだと感動し、その場で防衛大学校に入ることを決めました。将来の目標が出来たことによって日々の頑張る目標ができ、当時の恩師である船橋先生、光成先生、野口先生などのご指導のおかげもあり、無事に防衛大学校に入学することができました。

防衛大学校の大学生活は想像以上に上下関係が厳しく、何かあれば連帯責任として仲間全員が責任を取られます。辞めたい時期も数えきれないくらいありましたが、なんとか卒業することができました。

卒業後は、陸上自衛隊のヘリコプター操縦士の道を選びました。陸上自衛隊のヘリコプターの運用は航空自衛隊や海上自衛隊と違い、陸上作戦を主として運用されるため、時には山の谷間を低空で飛んだり、森林の中にあ

る狭い敷地に降りてみたりと、有事の際の救援活動や緊急の患者輸送などできるように日夜訓練に取り組んでおりました。

そのような中、政治家を志すきっかけが2つありました。

1つ目は2017年7月、朝倉市を中心として「九州北部豪雨」という大規模災害が起きました。私はヘリコプターを操縦し、想像を絶する被災現場を目の当たりにしました。警察や消防と連携しながら助けを待っている人々・動物などを懸命に救出しました。中でも、土砂災害に巻き込まれ亡くなった方をご家族のもとへお届けした際、公園にてご家族の方が我々に一礼していただいたことに、身の引き締まる思いでいっぱいでした。



2つ目は、災害現場を経験していく中で、私自身も5歳と3歳の子供を育てており、日本を、そして子供たちを守るためにも、先人たちの蓄積した経験や知識を伝えなければならないと強く感じておりました。しかし、一自衛隊員では、その声を届けることはなかなかできません。それでも将来の子供たちのため、九州北部豪雨での災害派遣の経験や祖父の言葉を胸に、政治家を目指す覚悟を固めました。そして、今、私がこのように福岡県議会議員として職務に邁進していますのも、ひとえに先生方や泰星OBの皆様のおかげです。何かあれば馳せ参じますので、お気軽にご相談していただければと思います。

2022年 泰星会ゴルフコンペ



令和4年11月5日(土曜日) 幹事 48期卒 田嶋誠也・濱田芳蔵
太宰府ゴルフ倶楽部にて、泰星会ゴルフコンペを開催いたしました。

15名の参加者にて開催いただきましたが、7期卒の大先輩から49期卒の後輩、年の差なんと42歳でのコンペとなりました。

天気にも恵まれ、母校の思い出話に花を咲かせながら、このような年齢差でのゴルフコンペは、同窓会ならではの難く、楽しい時間を過ごしました。

本年もまた、11月初旬～中旬に開催予定ですので、皆様も是非ご参加くださいませ。

参加希望・お問い合わせの方は、ホームページ又は、下記までご連絡お願いいたします。

TEL 090-7531-1213 (田嶋)

第22回 関東支部同窓会のお知らせ

開催日時：未定(10月頃を予定)

問合せ先：関東支部長 菅原隆典(33期) 携帯電話：090-9154-1540 Eメール：t.sugahara@sophia-taisei.gr.jp

第8回 泰星会 関西支部同窓会のお知らせ

開催日時：2023年11月18日(土) 18時30分～

開催会場：大阪ガーデンパレス

〒532-0044 大阪市淀川区西宮原1-3-35 (TEL 06-6396-6211)

会 費：5,000円(同窓会年会費3,000円を含む)

申 込：出席希望者は原田宛てに事前に連絡をください。

携 帯：090-1392-0496

音楽家がこれからの政治を担う時代



石田眞一郎（30歳）

泰星中学高等学校 62期

チューリッヒ芸術大学、チューリッヒ芸術大学大学院及びプラハ芸術大学大学院演奏家過程

久留米市議会議員、ホルン奏者

この度、上智福岡中学高等学校同窓会会報誌「泰星会」に掲載させて頂けること、本当に感謝でいっぱいです！ありがとうございます！！

「充実した中学、高校時代」

僕は、泰星中学校に入学して部活体験でホルンという楽器に巡り合いました。中高の吹奏楽部の顧問の先生、仲間にも恵まれ、「何事も切削琢磨して、頑張ること」の大切さを学び、いつの間にかプロ奏者を志し、音楽大学を目指していました。そんな時に図書館の司書教諭の方から、「平和の為のチャリティイベント、コンサートに参加しないか？」と誘われ、参加しました。年によって様々なテーマがあったのですが、高校3年生の時のテーマは、「沖縄」でした。実際に沖縄に足を運び、太平洋戦争時の惨状、今の米軍基地の現状を視察しました。その時に嘉手納基地近くの小学校に出向き、そこで聞いた話が衝撃的で、今でも忘れられません。小学校6年間の間の1年間分の授業に値する時間が戦闘機の騒音によって邪魔されるということでした。騒音により、子どもたちの集中力低下により、学力が下がっているという現状がありました。この後、平和祈念資料館に行き、思わず涙してしまいました。沖縄の惨状は、教科書の一、二枚の写真でしか知りませんでした。現地に行き、初めてこんなに酷い惨状だったと知りました。この時に、現場を見ること、現地の声を聞くことの大切さを学びました。

「長い長い8年間の学生生活」

現役で東京音大に合格。東日本大震災が起きて、不安が残る中で大学に進学しました。初めての大会での生活、競争社会には、なかなか慣れませんでした。泰星から上京した親友がいて、よく相談に乗ってもらっていましたが、ある日、いつものように夜ご飯を食べ、たわいもない話をした次の日に急逝しました。彼の夢は留学することでした。僕も高校の時から、留学してみたいと考えていましたが、、、彼が亡くなってしまい、「親友の夢も叶えたい！挑戦してみよう！」と思い、まずは短期でアメリカ、ドイツに行き、大学を中退することを決意しました。家族も友人も僕の実力を知る先生も誰一人、僕の留学には賛成しませんでした。しかし、「これからの人生、悔いのないことをやりたい」と思い、ドイツ語も話せないまま、家、ビザ、銀行口座、学籍もないまま、スーツケースと楽器を持って、ベルリンに移住しました。小澤征爾さんの「武者修行」という本を読み、「60年ぐらい前も出来たんだから、今も出来る」という根拠のない自信を持ち、住み始めたものの、色んなことに苦戦してしまい、帯状疱疹になってしまいました。友人の力添えで漸く、なんとか全てをクリアしました。語学学校では、今まで出会った事のない、様々な国の人と知り合うことが出来、国際感覚を養うことが出来ました。素晴らしいホルンの先生にも恵まれ、ベルリンでは、充実した浪人生活を過ごしました。2年弱ベルリンで浪人生活を経験して、チューリッヒ芸術大学に合格しました。経済的に余裕があまり無かった為、日本雑貨店でアルバイトをしたり、給付型の奨学金を頂いて生活をしていました。日本雑貨店でバイトをして、外から見た日本の魅力に気付かされて、世界中で地元福岡の物産で商売が出来たらいいな、地元を盛り上げたいと思うようになりました。



多国籍の友人と夏のアカデミードイツにて

大学院在学中、世界中のオーケストラのオーディションを受けていた最中に中国の蘇州交響楽団に決まり、中国へ移住することになりました。スイスから中国に移住する間に、日本で社会人生活を少しでもしたいと思い、パン屋さん、百貨店で短期のアルバイトをしました。

「遂に社会人に！！」

2019年9月から昨年の4月まで中国の蘇州という街で念願のオーケストラ奏者として活動させていただきました。職場には世界中から集まった20カ国以上の国籍のメンバーがいて様々な場所で演奏をさせてもらい、更に経済発展途中の中国の姿を間近で見ることが出来ました。この中でも、やはり様々な国から来た同僚と毎日のように国際交流が出来たのは、僕の人生の中の宝です。和食を振る舞って、地元の特産物を紹介したり、様々な感覚で政治の話をしたりするのがとても楽しかったです。このような経験をする中で「音楽で社会を変えていきたいけれど、社会を本質的なところから変えるには政治しかない」と考えるようになり、政治家を志すことにしました。昨年4月に10年ぶりに完全帰国をして、政治活動をして、久留米市議会議員選挙に2276票(21位/48人中)で当選させていただきました。



スイスのオーケストラとモーリシャス島へ演奏旅行



手作り選挙カーと有志の皆様と

「いつも大切にしてきた事、そしてこれからの私たちの政治」

いつも泰星の校訓でもある「men and women for others (他者の為に生きる)」を大切にしてきました。この精神は、世界中、色んな分野で共通していることだと実感してきました。これからもこの言葉を大切に、色んなことに取り組んで参りたいと思います。僕自身、まだまだ未熟な者ですが、夢があります。それは、今、政治離れが進んでいっていますが、これからは、もっとわかりやすい政治、身近な政治を、そしてもっと世界に日本、福岡の魅力を発信していけるような国際力が身に付きやすい社会を築いていけたらいいなと考えております。これまでの人生、沢山の方に助けて頂きました。これからは、人の為に一生懸命働き、挑戦し続けたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願い致します！！

ホームページ



上智福岡中学高等学校同窓会

Sophia-Fukuoka Junior-Senior High School Alumni Association

<https://www.sophia-taisei.gr.jp>



- ★会員情報の変更申込、泰星メールの利用申込、泰星メーリングの利用申込、泰星ブログの投稿申込を受け付けておりますので、ご活用下さい。
- ★同窓会行事の予定通知や結果報告はホームページで公開しておりますので、ご覧下さい。



同窓生専用の公開グループです。「泰星会」でご検索下さい。
同窓会の活動報告も随時行っていますので、入会して卒業生の交流を深めましょう。

同窓会 本部役員

役職	氏名	卒期
会長	中島 幸男	高10期
副会長	吉村 弘美	高28期
副会長	齋藤 純	高25期
副会長	藤井 俊雄	高31期
監事	鈴木 弘幸	高28期
監事	荒木 敏彦	高20期
名誉会長	船橋 巖	学校長
顧問	松尾 英生	高6期
顧問	大串 安弘	高7期
顧問	八尋 良久	高11期
事務局	城谷 剛	高47期
事務局	光成 研二郎	高45期

同窓会 関東支部役員

支部長	菅原 隆典	高33期
副支部長	白壁 勝直	高42期
副支部長	矢幡 重孝	高45期
副支部長	大石 智太郎	高57期
顧問	富塚 恭順	新中3期
顧問	根本 勲	新中3期
顧問	大場 優	高17期

同窓会 関西支部役員

支部長	原田 耕作	高24期
-----	-------	------

令和4年度 事業報告

1. 役員会活動	2. 交流・親睦活動
令和4年6月 役員会(同窓会室)	令和4年未定 関東支部同窓会(中止)
6月 総会・懇親会(中止)	未定 関東支部同窓会(中止)
7月 三役会・広報委員会(同窓会室)	12月 第39回 JHAF四校連絡協議会 (Web開催)
8月 三役会・広報委員会(同窓会室)	
	3. 各種補助・記念事業活動
令和5年1月 三役会・広報委員会(同窓会室)	・高校在校生への奨学費補助事業
2月 74期 新幹事入会式(中止)	・東ティモールへの奨学費補助事業
3月 三役会・広報委員会(同窓会室)	・中学修了生と高校卒業生への卒業証書入贈呈(3月)
	・高校卒業生への記念品贈呈(3月)
	・会報28号の発行と送付(7月)

令和5年度 事業計画 (案)

1. 役員会活動	2. 交流・親睦活動
令和5年5月 役員会(同窓会室)	令和5年10月 関東支部同窓会
6月 役員会(同窓会室)	10月 第40回 JHAF四校連絡協議会 (広島学院)
7月 役員会	11月 関西支部同窓会
8月 役員会(同窓会室)	秋頃 泰星会ゴルフコンペ
9月 総会・懇親会	
11月 役員会(同窓会室)	3. 各種補助・記念事業活動
	・高校在校生への奨学費補助事業
令和6年2月 役員会(同窓会室)	・東ティモールへの奨学費補助事業
2月 75期 新幹事入会式	・中学修了生と高校卒業生への卒業証書入贈呈(3月)
令和6年3月 役員会(同窓会室)	・高校卒業生への記念品贈呈(3月)
	・会報29号の発行と送付(7月)

令和4年度 決算書

(1) 前年度繰越金		(単位:円)	
項目	令和4年度決算	令和4年度予算	差異
前年度繰越金	20,186,527	20,186,527	0
(2) 収入の部			
会費収入	4,780,800	4,689,600	91,200
入金金	393,000	456,000	△ 63,000
会員年会費収入	1,101,000	1,000,000	101,000
利息収入	484	5,000	△ 4,516
寄付金	0		0
雑収入	0		0
収入合計	6,275,284	6,150,600	124,684
(1)+(2) 合計	26,461,811	26,337,127	124,684
(3) 支出の部			
通信費	68,165	100,000	31,835
消耗品費	32,478	40,000	7,522
旅費交通費	154,150	400,000	245,850
印刷費	14,659	30,000	15,341
渉外費	347,479	550,000	202,521
事務費	428,357	500,000	71,643
会議費	237,090	300,000	62,910
慶弔費	110,000	80,000	△ 30,000
奨学費	600,000	600,000	0
情報管理費	759,646	900,000	140,354
関東支部活動費	50,000	50,000	0
関西支部活動費	20,000	20,000	0
総会費補助	700,000	700,000	0
会報発行費	892,500	900,000	7,500
雑費	45,241	100,000	54,759
予備費	175,492	550,000	374,508
支出合計	4,635,257	5,820,000	1,184,743
次年度繰越金	21,826,554	20,517,127	△ 1,309,427
(1)+(2)-(3)			

令和5年度 予算書

(1) 前年度繰越金		(単位:円)	
項目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
前年度繰越金	21,826,554	20,186,527	1,640,027
(2) 収入の部			
会費収入	4,905,600	4,689,600	216,000
入金金	495,000	456,000	39,000
会員年会費収入	1,000,000	1,000,000	0
利息収入	3,000	5,000	△ 2,000
寄付金	0	0	0
雑収入	0	0	0
収入合計	6,403,600	6,150,600	253,000
(1)+(2) 合計	28,230,154	26,337,127	1,893,027
(3) 支出の部			
通信費	90,000	100,000	△ 10,000
消耗品費	40,000	40,000	0
旅費交通費	500,000	400,000	100,000
印刷費	30,000	30,000	0
渉外費	550,000	550,000	0
事務費	500,000	500,000	0
会議費	350,000	300,000	50,000
慶弔費	100,000	80,000	20,000
奨学費	1,200,000	600,000	600,000
情報管理費	800,000	900,000	△ 100,000
関東支部活動費	50,000	50,000	0
関西支部活動費	50,000	20,000	30,000
総会費補助	700,000	700,000	0
会報発行費	900,000	900,000	0
雑費	100,000	100,000	0
予備費	550,000	550,000	0
支出合計	6,510,000	5,820,000	690,000
次年度繰越金	21,720,154	20,517,127	1,203,027
(1)+(2)-(3)			

監査報告書

令和4年度同窓会会計に関する帳票並びに証票関係書類を令和5年4月21日に監査し決算書が適正に作成されている事を確認致しました。

荒木敏彦
鈴木弘幸

2023年度大学入試合格者数・進路

2023/4/1現在

[国公立大学]

大学名	合格	現役
(国立大学)		
東京大学	1	1
一橋大学	1	1
大阪大学	1	1
九州大学	9	8
北海道教育大学	1	1
筑波大学	1	0
お茶の水女子大学	1	1
東京学芸大学	1	1
奈良女子大学	1	1
山口大学	1	1
愛媛大学	1	0
九州工業大学	4	2
佐賀大学	3	3
長崎大学	1	1
大分大学	1	0
富崎大学	1	1
琉球大学	1	0
国立大学 計	30	23
(公立大学)		
都留文科大学	1	1
名古屋市立大学	1	1
公立大学 計	2	2
国公立大学 総計	32	25

[文部科学省所管外 大専校]

大学校名	合格	現役
防衛大学校		
人文・社会科学専攻(一次)	1	1
理工学専攻(一次)	5	5
大専校 総計	6	6

[私立大学]

大学名	合格	現役
上智大学	26	26
早稲田大学	5	4(3)
慶応義塾大学	3	3
東京理科大学	9	9
青山学院大学	4	3(3)
亜細亜大学	2	1
國學院大学	2	2
国際基督教大学	2	2
駒澤大学	1	1
芝浦工業大学	9	5
成蹊大学	1	1
専修大学	1	1
大東文化大学	1	1
中央大学	5	4(6)
東海大学	1	1
東京女子大学	1	1
日本大学	1	0
法政大学	1	1
明治大学	6	5(5)
明治学院大学	2	2
立教大学	5	5(4)
愛知学院大学	2	2
京都女子大学	1	1
同志社大学	8	8(4)
同志社女子大学	2	2
立命館大学	11	10(10)
龍谷大学	5	5
関西大学	4	4(2)
近畿大学	6	6(3)
関西学院大学	11	8(9)
神戸学院大学	1	1
西南学院大学	17	16(18)
福岡大学	31	21(45)
立命館アジア太平洋大学	1	1

大学名	合格	現役
酪農学園大学	2	0
国際医療福祉大学	3	0
獨協医科大学	1	0
明海大学	1	0
神田外語大学	1	1
千葉工業大学	5	5
麻布大学	1	0
桜美林大学	1	1
北里大学	1	0
共立女子大学	1	1
杏林大学	1	1
国士舘大学	1	1
昭和大学	1	1
昭和女子大学	1	1
女子美術大学	1	1
聖心女子大学	2	2
拓殖大学	1	0
帝京大学	3	3
東京都市大学	1	1
東京農業大学	2	2
東邦大学	1	1
東洋大学	2	1
日本歯科大学	1	1
金沢医科大学	2	0
金沢工業大学	4	4
日本福祉大学	1	1
大阪経済法科大学	12	12
大阪樟蔭女子大学	2	2
神戸薬科大学	1	0
奈良大学	1	0
岡山理科大学	3	1
川崎医科大学	1	0
福山大学	1	1
松山大学	1	1
九州国際大学	1	0
九州産業大学	14	10
九州女子大学	2	2
久留米大学	6	2
久留米工業大学	2	2
産業医科大学	1	0
純真学園大学	3	3
筑紫学園大学	1	1
中村学園大学	5	5
日本赤十字九州国際看護大学	1	1
福岡看護大学	2	2
福岡工業大学	4	0
福岡歯科大学	2	1
福岡女学院大学	5	5
福岡女学院看護大学	2	2
崇城大学	3	3
私立大学 総計	306	248

[専門学校]

学校名	合格	現役
福岡ECO動物海洋専門学校	1	1
専門学校 総計	1	1

[養成所]

養成所名	合格	現役
ボートレーサー養成所	1	1
養成所 総計	1	1

[医学部医学科]

大学名	合格	現役
佐賀大学	2	2
大分大学	1	0
産業医科大学	1	0
久留米大学	4	0
福岡大学	3	0
国際医療福祉大学	1	0
獨協医科大学	1	0
金沢医科大学	2	0
川崎医科大学	1	0
医学科 総計	16	2

[歯学部]

大学名	合格	現役
福岡歯科大学	2	1
明海大学	1	0
日本歯科大学	1	1
歯学部 総計	4	2

[薬学部]

大学名	合格	現役
慶應義塾大学	1	1
国際医療福祉大学	1	0
神戸学院大学	1	1
神戸薬科大学	1	0
福山大学	1	1
松山大学	1	1
薬学部 総計	6	4

[看護学部]

大学名	合格	現役
上智大学	1	1
杏林大学	1	1
昭和大学	1	1
東邦大学	1	1
純真学園大学	1	1
日本赤十字九州国際看護大学	1	1
福岡看護大学	2	2
福岡女学院看護大学	2	2
看護学部 総計	10	10

[獣医学部]

大学名	合格	現役
酪農学園大学	2	0
麻布大学	1	0
北里大学	1	0
岡山理科大学	3	1
獣医学部 総計	7	1

[海外の学校]

学校名	合格	現役
Johnson and Weles University	1	1
Milwaukee School of Engineering	1	1
University of Wisconsin-Stout	1	1
Hawaii Community College	1	1
海外の学校 総計	4	4

[就職]

就職先名	現役
	1
就職 総計	1

←() サンデー毎日掲載数

◎本年度卒業生(74期) 131名

◎進路決定者(74期) 114名

第2回 イエズス会姉妹校4校同窓会共同イベント

2022年2月11日（金）に、上智大学6号館202教室で、第2回イエズス会姉妹校4校同窓会共同イベント、テーマ：「きびしい世界を生き抜く自分の作り方」が開催されました。

六甲学院OB（63期・35歳）で就活サイト(株)ワンキャリア取締役の北野唯我さんをメインゲストにしたパネルディスカッションでは、現役学生のみならず20～50代までの参加者20数名とイエズス会同窓だからこそ、日頃聞けないような内容の濃いものとなりました。

上智福岡（泰星会）からは3名の参加者で、わざわざ遠路福岡から日帰りて来られた63期（29歳）のN氏は今春から東京・順天堂大学病院での研修医生活が始まるため、メディカル関連の知り合いを求めに参加されました。東京には栄光・六甲・広島OBのドクターが多数おられ、早速3校OBとの連絡を取り付け、来た甲斐があったものと思われまます。

4校同窓会共同イベントでは上智福岡（泰星会）のみならず、3校OBとの交流を深くできる場でありまます。今後も皆さま方のお役に立つ内容で企画してまいりますのでお気軽にご参加ください。

関東支部長 菅原隆典（33期）



同窓会会費納入のお願い

創立以来、卒業生も約10,039名となりました。

今まで年会費の納入は毎年の卒業生と同窓会総会の出席者が納める会費等で運営されております。

「会員の皆様の一人ひとりの力強い協力でさらなる発展」を目標に日々邁進していきたいと思っています。

経済情勢も厳しい中、会員各位の暖かいご理解とご支援をお願い致します。

●終身会費／50,000円 ●年会費／3,000円

※同封の振込用紙にて振込をお願い致します。

※終身会費を納入頂いた方は、年会費は必要ありません。

※最近、学校同窓会事務局・友人・知人等の名前を騙り、同窓生の家庭へ電話がかけられているとの情報がありますが、学校・事務局からは直接個人宅へ電話をすることは一切ありません。何かご不明な点がありましたらホームページまたはFAX・郵便で事務局へご連絡下さい。

同窓会会費納入状況

令和4年度 年会費納入者（66名）

卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名
旧制中学10期	洗川正俊	23期	緒方義則	43期	萩原健一	68期	田中宏和
新制中学5期	江副正一	24期	原田耕作	45期	光成研二郎		原虎太郎
新制中学10期	内野富蔵	25期	川口忍		江田龍彦		福田真大
3期	西田浩文		齋藤純	46期	井尾智範	69期	口木裕太郎
6期	松尾英生	28期	鈴木弘幸	47期	原田聰志		殿村早瑛
	永田靖之		吉村弘美	49期	園田智広	70期	堺廉
7期	樋口智教	29期	本荘哲	54期	佐藤慶太		城匡孝
10期	嘉松茂幸		森暢弘	59期	宮川宗一郎	71期	安東賢信
	中島幸男	32期	新納逸郎	60期	帆足政孝		大倉優一郎
11期	水野龍	34期	高橋克敏	61期	安枝伸	72期	磯部実桜
	八尋良久		花田政義	62期	星子圭介		高尾修平
12期	神村幸彦	37期	野瀬武也	63期	時政草太郎		鶴原日出近
	友納義昭		星野俊幸		重松朋洋		堀川志織
19期	木村利治	39期	富田義之	64期	本荘雄一朗		安川晴登
20期	荒木敏彦		中村直滋	65期	佐々木晃		
23期	萩原繁利	42期	古賀正悟	66期	種部仁		
	川村浩之	43期	田中夏樹				

終身会費納入者 (464名)

過去終身会費を納入頂いた方の一覧を掲載しております。

卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名	卒期	氏名
旧制中学校	山 川 辰 幸	31期	田 中 晃	42期	後 藤 祐 之	48期	安 田 誠
新制中学校	堤 敏 雄		藤 井 俊 雄		杉 雄 介		49期
	根 本 勲		田 中 淳		津 霸 雄 三	上 野 裕 介	
	浦 俊 雄		32期	久 米 典 彦	43期	安河内 進	江 崎 太 郎
	渡 辺 綱太郎			永 岡 映 二		大 串 奈 緒 史	赤 崎 憲 彦
	篠 原 隆 義			朝 長 道 生		保 利 俊 雄	近 藤 匡
	矢 野 孝 士			江 崎 嘉 春	吉 田 尚 史	吉 野 悠	
	甲 斐 清 人			松 岡 潔	児 玉 康 典	市 島 久 仁 彦	
	末 若 直 司			高 山 克 彦	吉 村 太 輔	小 野 匡 彦	
	福 井 宗 陽			木 下 顯 伸	船 越 禎 広	鳥 居 晋 太 郎	
新制高校2期	堤 敏 雄	中 島 大 象		44期	吉 田 耕 平	中 村 憲 彦	
3期	森 邦 蔵	菊 池 仁 志			東 義 隆	松 岡 賢 介	
	山 田 博	永 田 雅 士			柴 田 光 太 郎	宮 本 大 雄 介	
4期	平 俊 雄	品 川 敦 彦	安 川 英 輔	八 本 尋 平			
5期	浦 田 敬	新 島 三 行	柳 澤 義 和	安 藤 幸 滋			
6期	渡 辺 綱太郎	鳥 越 徹	天 本 弘 毅	石 本 和 久			
	諸 石 量 蔵	34期	古 閑 康 浩	大 庭 幸 治			
	榊 茂 樹		福 井 智 明	佐 田 悠 輔			
山 崎 允 久	川 端 幸 一		園 田 智 広				
矢 野 孝 士	岩 本 司		松 尾 暁 憲				
7期	中 村 孝 志		野 村 信 介	井 上 昌 宏	三 坂 征 嗣		
	大 串 安 弘		大 隈 寛 記	北 田 功 治	村 方 健 治		
9期	松 井 梓		吉 川 衆 陽	米 田 幸 司	50期	井 上 政 志	
	山 川 勲		長 崎 浩 一	白 鳥 拓 吾		筑 紫 智 一	
11期	永 井 浩 道		久 保 隆 一	宮 城 和 暢		江 野 智 一	
	石 田 勝 一		山 田 佳 明	大 竹 秀 平		王 丸 泰 成	
13期	水 野 龍	35期	齊 田 巖	小 城 左 直		大 塩 節 幸	
	源 元 洋 樹		井 上 信 弘	安河内 弘		相 良 泰 至	
16期	大 川 泰 博		弓 部 治 一 郎	大 串 奈 津 貴		茂 地 圭 一	
	川 辺 董		高 村 努	加 藤 佳 史		村 田 直 久	
18期	志 佐 幾 範		36期	木 村 芳 三		川 嶋 優 介	
	馬 場 恵 介			吉 田 元 彦		中 林 雷 太 介	
19期	新 貝 邦 雄		37期	後 山 泰 一	村 上 隆 浩		
	岩 室 義 康			多 田 雄 亮	増 田 浩 一 人		
20期	尾 上 隆 光		八 尋 茂 一	秋 永 和 彦	木 原 德 悠 二		
	上 田 正 博		浅 原 弘 德	緒 方 宏 充	戸 嶋 太 一		
	古 川 德 治	井 上 憲 一	陶 山 忠 義	真 子 圭 輔			
23期	川 上 聖 司	神 野 弘 光	西 隆 俊	佐々木 博 康			
	松 井 忠 之	吉 田 典 弘	永 野 真 喜 雄	里 永 知 洋			
	岡 部 成 敏	江 崎 嘉 十	横 溝 雄 一 郎	松 田 透 介			
25期	山 元 眞	二 橋 広 樹	清 水 裕 之	柴 田 大 介			
	松 田 敏 雄	福 田 隆 一	田 村 大 吾	相 本 光 一			
26期	石 塚 浩 志	上 山 孝 治	西 坂 次 郎	秋 良 大 輔			
27期	山 本 泰 久	加 藤 剛	日 名 子 健 司	川 久 保 尚 德			
28期	馬 場 正 佳	菊 池 篤 志	王 丸 陽 光	52期	大 坪 潤		
	藤 木 康 宏	羽 廣 健 仁	河 邊 利 典		田 代 雅 洋		
	尾 崎 俊 哉	外 山 敬 一	佐 藤 万 木		松 田 直		
29期	佐々木 淳	向 坊 重 広	野 本 和 範		渡 口 龍 太		
	迎 洋 介	高 田 宗 尚	宇 都 宮 崇 人		大 庭 尚 史		
	堤 正 徳	武 井 秀 樹	田 中 亮 悠		名 倉 将 司		
30期	青 木 悟	田 中 慎 一 郎	杉 直 樹		有 岡 将 基 人		
	大 石 英 雄	牧 山 美 好	田 瀨 晶 也		市 川 礼 人		
31期	松 岡 智 夫	米 村 修 一	段 倉 智 久		草 野 健 史		
	西 田 慎 司	谷 秀 和 朗	倉 員 正 光		坂 井 俊 介		
31期	緒 方 秀 信	手 嶋 史 朗	清 水 康 仁	52期	坂 井 勇 介		
	山 田 秀 二	加 藤 伸 司	山 名 健 治		芹 川 正 興		
	井 上 忠 光	平 嶋 崇 史	岡 敦		富 田 慶 一		
	早 川 卓	安 倍 弘 和	金 子 慶 史		富 永 一 樹		
	衣 笠 哲 史	西 山 和 義	菊 池 龍		鳥 居 翔 次 郎		
	増 崎 博 則	米 田 宝 広	自 見 倫 敦		富 永 一 樹		
	赤 城 格 芳	往 田 卓	田 浦 康 明		鳥 居 翔 次 郎		
	原 野 和 芳	川 口 貴 裕	徳 永 和 佳		廣 瀬 道 宣		
野 入 修	一 木 克 之	中 村 昭 裕	栗 田 卓				
	小 塚 武 典	濱 田 芳 蔵					

卒期	氏名	
53期	大迫憲太	
	窪田明久	
	村久木洋一	
	岩村淳一	
	高野宏	
	山本圭一郎	
	若松秀典	
	石松哲郎	
	浦山耕太郎	
	竹崎万恭	
	西隼一郎	
	原豪志	
	馬男木勇人	
	宮崎裕明	
	權藤大介	
	平田一平	
	円田圭亮	
	川崎恒治	
	権藤公樹	
	杉原輝洋	
西村智和		
54期	河野晃輝	
	島田顯弘	
	辻彰太	
	山崎英治	
	今井智之	
	岩尾恵仁	
	熊谷和貴	
	日名子政人	
	柴田英明	
	筒井孝昭	
	曾野正士	
	高倉英彰	
	藤澤宏亘	
	吉田統樹	
55期	中村公紀	
	武藤泰典	
	渡辺智之	
	石井太郎	
	権藤亮二	
	渡辺雄太	
	藤島弘併	
	江崎弘茂	
	野田紘志	
	前田裕薫	
	56期	東田真行
		才田昌弘
		高地秀平
		赤司篤彦
岡本新也		
猿渡公平		
名取雅航		
漁崎祐平		
石本隆浩		
笹野佑介		
知念澄志		
中西村秀明		
二田一磨		
56期		緒方友孝
	田中健嗣	
	春岡朋陸	
	目野恭平	
	熊谷拓哉	
	高木友博	
西郡慶		

卒期	氏名	
57期	中村謙文	
	大石智太郎	
	大庭啓和	
	田辺恭介	
	宮本音哉	
	楠木謙太郎	
	富久雄一	
	58期	畑中晋太郎
		渡辺博之
		入江望
尾上林太郎		
河野仁哉		
俵亘		
中村康志		
山下怜生		
59期		佐藤尚人
		山崎彰悟
	池口暢俊	
	中庭一誠	
	矢毛石陽太	
	金江剛	
	曾野雄士	
	富田俊一朗	
	中牟田賢	
	古野肇	
60期	筒井宏光	
	鶴森翔一郎	
	岡原弘明	
	熊谷浩紀	
	村山広樹	
	伊田典史	
	伊東昌剛	
	亀井久彰	
	岸勇太郎	
	多田雄亨	
61期	居倉聖	
	川崎友寛	
	後藤和貴	
	田中誠剛	
	長生昌紘	
	濱部周平	
	淵野仁志	
	富田英祐	
	井上昂也	
	岸川政弘	
62期	佐々木亮司	
	松尾光大	
	江口雄一	
	大竹優太	
	岡本新平	
	古澤賢悟	
	目等勝悟	
	内田奎太郎	
	田中智大	
	永瀨大河	
63期	案浦直峻	
	石田優太	
	河村慶一	
	田島慶之	
	濱岡紀之	
	安元和博	
	矢野喜三郎	
	藤野隆大	

卒期	氏名
64期	植村亮也
	半田阿斗武
	合田新
	南里有哉
	加藤翔一
	長村健
	黒瀬智弘
	相浦真人
	青駿之介
	東経行
65期	内田裕太郎
	清原以於理
	瀬頭広典
	高山将一
	立川裕基
	田中隆斗
	中村龍志
	中山晋太郎
	林晋太郎
	廣田壮平
66期	松本尚希
	宮崎醇
	八木良彰
	山口拓
	米永和巨
	牛島大生
	笠原大生
	宿里正顕
	繁谷隆広
	高木孝典
高田聖也	
67期	田中猛豪
	田中悠貴
	寺田光汰
	刀祢計浩
	松田浩範
	河村健太郎
	北村康浩
	坂井法仁
	高橋樹大
	波多江利樹

卒期	氏名	
68期	浦翔太	
	城島太覚	
	鈴木靖貴	
	瀬部航佑	
	武田悠希	
	田中拓人	
	直江将史	
	本多孝近	
	真鍋有希	
	69期	浅桐菜々子
井上晏寿		
江田隆志		
冲亮太		
杉本陽香		
田中伸旺		
林田崇寛		
皆元博大朗		
武藤研志郎		
山田美咲		
70期	山部祐太	
	加来千空	
	川邊響	
	才田亮太郎	
	坂口史夏	
	鈴木芳奈	
	高見勇楽	
	西江萌	
	71期	井手康紀
		稲富祐輝
薄井七海		
大谷ひまり		
川根尚子		
神田瑞月		
城島雲仁		
中村祐佳子		
御厨日向代		
72期		井上鈴巴
	菊池尚也	
73期	柴田航	
	次田圭佑	
廣田暢彦		

平尾校舎聖堂



旧平尾校舎

上智福岡中学高等学校同窓会（泰星会） 開催のお知らせ

- 日時 令和5年9月16日（土曜日）
16:30 受付開始
17:00 総会（5階 雪柳の間）
18:00 懇親会（3階 天・香の間） *着席形式を予定しております
- 会場 八仙閣本店
住所：福岡市博多区博多駅東2-7-27 TEL：092-411-8000
- 会費 5,000円（但し70期卒以降の会費は2,000円です）

4年ぶりの同窓会開催となります。コロナに負けず、盛り上がりましょう。

泰星・上智福岡のつながりは、一生のつながりになります。多くの卒業生のご参加をお待ちしております。ご参加頂けます方は、**下記のいずれかの方法で9月1日(金)までにご回答**頂きますよう、よろしくお願い致します。

なお、新型コロナウイルスの流行により開催が急遽中止となりました令和2年度の前売り券をお持ちの方は、当日ご持参頂ければ受付で返金致します。未返金分につきましては、翌9月17日をもちまして、同窓会を通じて上智福岡中学・高等学校に寄付させて頂きますことをご了承下さい。

ご不明点がございましたらメールからお問い合わせ下さい。

みかぎ ひろたか
幹事：54期 御鍵 寛孝
akasaka.breast.clinic@ymail.ne.jp

1 返信用葉書（懇親会費は当日支払い）

同封の返信用葉書にご記入の上、ご返送下さいますようお願い致します。

2 Webから（懇親会費は当日支払い）

右のQRコードを読み取って頂き、必要事項をご入力下さい。



3 LINEから（懇親会費の事前精算可）

同窓会の公式LINEアカウントを作成しました。今後の同窓会のご案内受け取りや会報誌の送付先変更などが可能ですので、欠席される方もぜひ右のQRコードからお友達登録だけでもお願い致します。

LINE Payをご利用の方は事前精算も可能です。



上智福岡中学高等学校同窓会事務局

〒810-0032 福岡市中央区輝国1-10-10
TEL：092-715-9094 FAX：092-715-9095
上智福岡中学高等学校事務局 TEL：092-712-7181

同窓会ホームページ <https://www.sophia-taisei.gr.jp>

同窓会メールアドレス info@sophia-taisei.gr.jp